

# 行政経営評価（施策評価）

<b>コミュニティの視点 （生活と空間）</b>	<b>6. 学区・生活圏域</b>	「地域で自らの生活の安全を守る」という性格が強い防災・防犯などの分野と、主にかかりつけ医の範囲内での取組が求められる医療分野を【学区・生活圏域コミュニティ】に該当する分野と捉えます。
------------------------------	-------------------	---

施策分野	目指すべき姿
6-① 医療	医療提供体制の維持を図ることにより、市民が良好な医療サービスを受けられるまち
6-② 防災・消防	自助・共助・公助の役割分担により防災体制が整っており、消防団も含めた消防力が十分に整備された、安全安心に暮らせるまち
6-③ 防犯・交通安全	市民と行政が連携した取組により犯罪が起こりにくい環境が整備され、また交通安全対策が図られた、安全安心に暮らせるまち

## ■まちづくりの視点

市民の視点	学校等の地域拠点を媒介として多角的な交流をつくる
行政の視点	安心安全な地域づくりに取り組む
協働の視点	多様な地域づくり主体の横のつながりをつくる

## ■成果指標と現状

指標名 （対象分野）	計画策定時 （基準年度）	現状 （最新）	3年後 （2021年度目標値）	5年後 （2023年度目標値）	10年後 （2028年度目標値）
① 銚子市立病院の1日当たり患者数 （医療）	入院 83.7人 外来 247.7人 （2017年度）	入院 89.9人 外来 258.5人 （2021年度）	入院 93人 外来 245人	入院 93人 外来 245人	入院 93人 外来 245人
② 自主防災組織の活動カバー率 （防災・消防）	1.5% （2017年度）	6.5% （2021年度）	4.6%	6.3%	12.1%
③ 消防職員のうち救急有資格者数 （防災・消防）	66人 （2017年度末）	68人 （2021年度）	66人	69人	72人
④ 住宅用火災警報器の設置率 （防災・消防）	78.0% （2017年度末）	82.0% （2021年度）	79.5%	80.5%	83.0%
⑤ 人口1万人当たり刑法犯認知件数 （防犯・交通安全）	73.3件 （2017年）	45.7件 （2021年度）	71.1件	69.7件	66.3件
⑥ 人口1万人当たり交通事故発生件数 （防犯・交通安全）	20.2件 （2017年）	21.5件 （2021年度）	18.4件	17.3件	14.9件

成果指標と現状の分析
<p>医療の分野では、銚子市立病院の1日当たり患者数の値が順調に推移し、コロナ禍前（2019年度）の水準まで回復している。回復期リハビリテーション病棟20床が稼働し、利用者数の増加に起因した。一方、7月から8月にかけて院内でクラスターが発生し、入院患者の受入れを一時中止したため、病床稼働率が低下している。また、銚子市立病院では、新型コロナウイルス感染症対策として、海匠保健所と連携して感染症疑い患者の診察やPCR検査を実施したほか、銚子市医師会と協力して市民への新型コロナワクチン接種を実施し、感染症の拡大防止に努めた。</p> <p>防災・消防の分野では、自主防災組織の活動カバー率が順調に推移している。令和3年度から設立時の資機材整備費などの補助を開始し、自主防災組織の組織化を後押ししたことで、新たに4団体が設立された。しかしながら、千葉県平均68.7%と比較すると著しく低い水準であり、今後も更なる取組の推進が必要である。住宅用火災警報器の設置率についても順調に推移している。今後も機器の設置及び更新に加え、適切な維持管理について指導をしていく。</p> <p>防犯・交通安全の分野では、いずれの指標も前年度から数値が低下しており、改善している。コロナ禍の外出自粛の影響も考えられるが、引き続き防犯体制の強化、交通マナー・ルールの徹底を図っていく。</p>



行政経営評価レポート

		所管	健康・地域医療推進室
事務事業名	在宅当番医経費	事業ID	10401011722

4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 2	R 3
日曜日、祝日及び年末年始の内科診療	延べ件数	目標値	77	77
		実績値	77	72
日曜日、祝日及び年末年始の外科診療	延べ件数	目標値	50	49
		実績値	42	44
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 2	R 3
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		

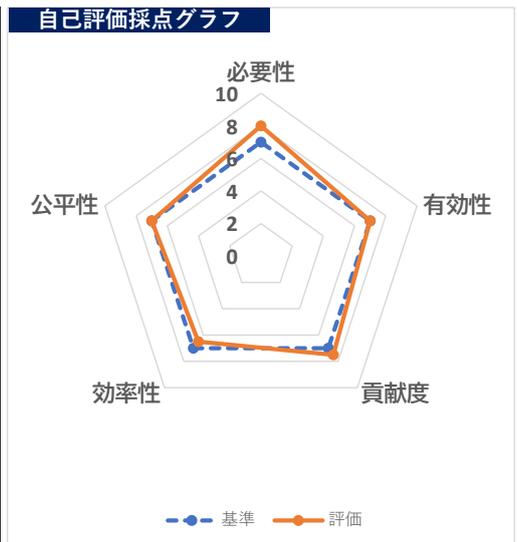
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載

日曜日、祝日及び年末年始の救急・急病者の受入れを行い、市民の健康と安全に寄与した。

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	現状と同じ体制を維持していく。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

銚子市医師会と連携して、今後も市民の健康と安全を守る体制を維持していく。



# 行政経営評価レポート

	所管	健康・地域医療推進室
事務事業名	保健予防推進経費	事業ID
		10401011822

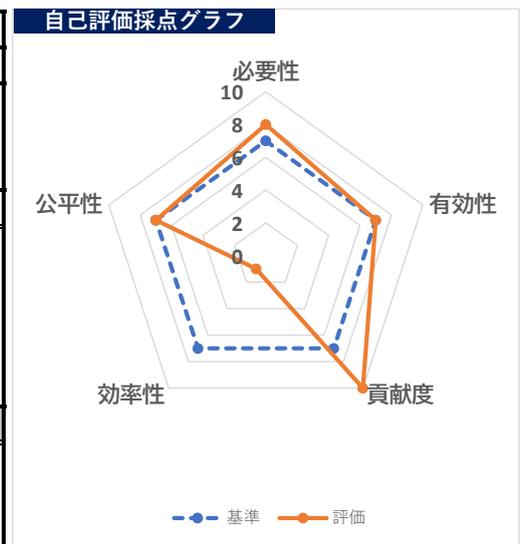
## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 2	R 3
銚子市医師会への補助	千円	目標値	—	—
		実績値	1,300	1,300
銚子市歯科医師会への補助	千円	目標値	—	—
		実績値	150	150
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 2	R 3
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
<b>事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載</b>				
銚子市医師会、銚子市歯科医師会と連携し、新型コロナウイルス感染症などの対応を図った。				

## 5 事業の検証

<b>必要性</b>	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
<b>有効性</b>	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
<b>効率性</b>	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討していない
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
<b>公平性</b>	受益者負担は公正・公平か	評価対象外

<b>事業の方向性</b>	c:事業内容は現状どおりとする
<b>見直しの種類</b>	現状どおり
<b>見直しする内容</b>	
<b>今後の予算規模の方向性</b>	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
	引き続き銚子市医師会、銚子市歯科医師会と連携して保健予防行政を推進していく。
<b>比較参考（他自治体での類似事業の例など）</b>	



## 6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

銚子市医師会、銚子市歯科医師会と連携し、市が行う保健予防行政を推進していく。
--



行政経営評価レポート

		所管	健康・地域医療推進室
事務事業名	看護師等修学資金貸付経費	事業ID	10401012422

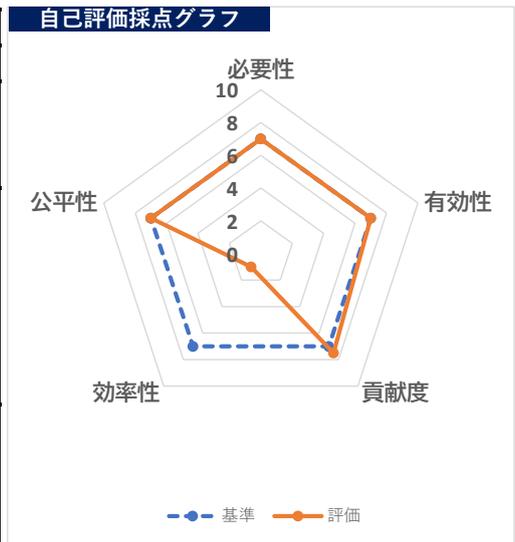
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
新規貸付者数（看護師）	人	目標値	1	1
		実績値	1	2
新規貸付者数（准看護師）	人	目標値	1	1
		実績値	0	0
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
前年度で貸付期間が終了した者の市内医療機関への就職者（看護師） （ 貸付期間終了後、1年2ヵ月以内に市内の医療機関に勤務し、看護師の業務に従事することになった者の数 ）	人	目標値 実績値	2 2	1 1
市内医療機関への就職者（准看護師） （ 貸付期間終了後、1年2ヵ月以内に市内の医療機関に勤務し、准看護師の業務に従事することになった者の数 ）	人	目標値 実績値	— —	— —
		目標値		
		実績値		
<b>事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載</b>				
<p>目標は概ね達成できている。引き続き、制度の周知を図っていきたい。</p>				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	廃止・休止による影響は小さいがある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討していない
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者はいるが今後も公費により全額市が負担すべきものである

事業の方向性	a:事業内容を見直す
見直しの種類	事業を拡大
見直しする内容	募集人員の増加
今後の予算規模の方向性 (上記理由)	予算規模は現状維持とする  制度の周知を図り、より多くの方に利用してもらうため。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>令和3年度の新規貸付者は、前年度と比較し1名増となっている。同制度の利用希望者は多いことから、引き続き制度周知を図っていき、地域医療の向上に貢献しようとする意欲のある方を支援していきたい。</p>
---



# 行政経営評価レポート

	所管	健康・地域医療推進室
事務事業名	銚子市立病院看護師等修学資金貸付経費	事業ID
		10401012522

## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
新規貸付者数(看護師/月額5万円)	人	目標値	1	1
		実績値	0	1
新規貸付者数(准看護師/月額3万円)	人	目標値	1	1
		実績値	0	0
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目 (指標の説明)	単位	目標/実績	R2	R3
前年度で貸付期間が終了した者の市立病院への就職者数(看護師) ( 貸付期間終了後、1年2ヵ月以内に市立病院に勤務し、看護師の業務に従事することとなった者の数 )	人	目標値	—	—
		実績値	—	—
前年度で貸付期間が終了した者の市立病院への就職者数(准看護師) ( 貸付期間終了後、1年2ヵ月以内に市立病院に勤務し、准看護師の業務に従事することとなった者の数 )	人	目標値	1	—
		実績値	1	—
		目標値		
		実績値		

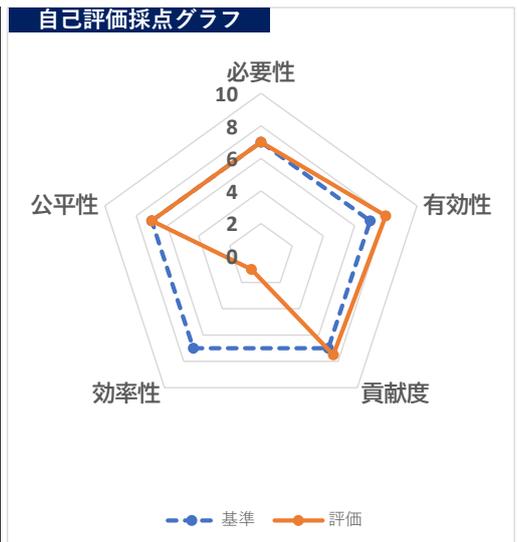
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載

地域医療を支える看護師、准看護師を継続して確保していくため、制度の周知を図っていく。

## 5 事業の検証

必 要 性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	廃止・休止による影響は小さいがある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに十分に見合った成果を得ている
貢 献 度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効 率 性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討していない
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	受益者はいるが今後も公費により全額市が負担すべきものである

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性 (上記理由)	予算規模は現状維持とする
新規貸付者は現状どおり、0~1名程度で推移すると見込まれるため。	
比較参考(他自治体での類似事業の例など)	



## 6 総評 (評価に対する考え方から今後の事業の進め方など)

制度の周知を図り、銚子市立病院に勤務する人材の確保に努める。



行政経営評価レポート

		所管	健康・地域医療推進室
事務事業名	病院事業会計負担、補助及び出資経費（病院事業会計運営費）	事業ID	10401010822

4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 2	R 3
病院事業会計への負担金〔目標値は予算額〕	千円	目標値	729	640
		実績値	784	638
病院事業会計への補助〔目標値は予算額〕	千円	目標値	168,318	177,284
		実績値	167,263	170,446
病院事業会計への出資〔目標値は予算額〕	千円	目標値	13,479	—
		実績値	10,503	—
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 2	R 3
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		

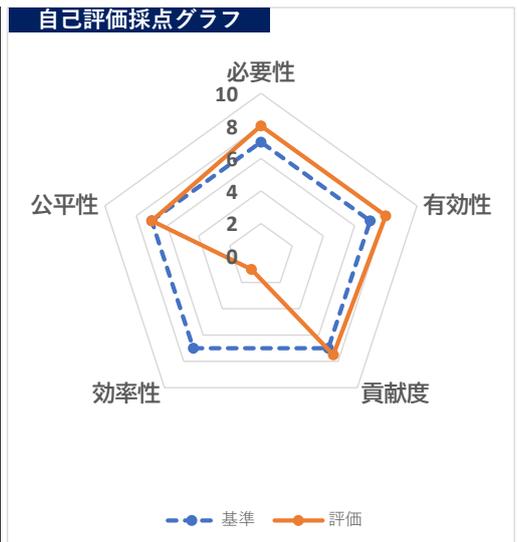
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載

適正に補助金等を支出することができた。

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに十分に見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討していない
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者はいるが今後も公費により全額市が負担すべきものである

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
病院事業では、市立病院を指定管理者制(利用料金制)により運営しており、医業収益を有さないことから、現行の体制が継続する限り補助金等の支出が必要であるため。	
比較参考(他自治体での類似事業の例など)	



6 総評(評価に対する考え方から今後の事業の進め方など)

今後とも適正な予算執行に努める。



行政経営評価レポート

		所管	健康・地域医療推進室
事務事業名	銚子市医療公社運営経費	事業ID	10401012322

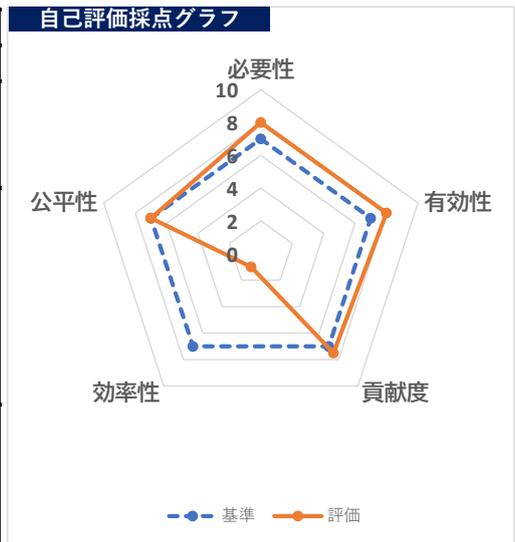
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
銚子市医療公社への補助	千円	目標値	2,853	2,853
		実績値	2,784	2,783
銚子市医療公社への長期貸付金	千円	目標値	—	100,000
		実績値	—	100,000
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
銚子市医療公社の円滑な運営に寄与した。				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに十分に見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討していない
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者はいるが今後も公費により全額市が負担すべきものである

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性 (上記理由)	予算規模は現状維持とする
	銚子市医療公社の安定した運営に寄与するため。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

引き続き、一般財団法人銚子市医療公社と連携し、公社側の運営費不足分について支援していきたい。
--



# 行政経営評価レポート

	所管	健康・地域医療推進室
事務事業名	病院事業会計負担、補助及び出資経費（指定管理者交付金）	事業ID
		10401013322

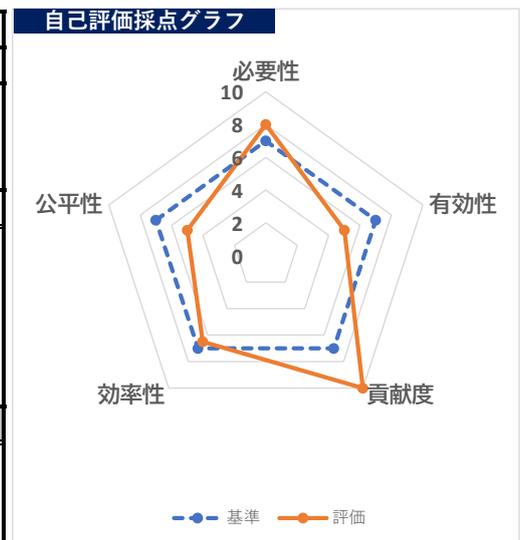
## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 2	R 3
銚子市医療公社への補助（人件費補てん交付金）	千円	目標値	300,000	200,000
		実績値	270,000	138,000
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 2	R 3
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
<b>事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載</b>				
適正に補助金を支出することができた。※令和4年度において病院事業会計に対し支出した、指定管理者への交付金の財源としての補助額は、上記一般財源分138,000千円と新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金分200,000千円を合わせて338,000千円となっている。				

## 5 事業の検証

<b>必要性</b>	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
<b>有効性</b>	事業の成果は得られているか	成果が概ね出ているが、更なる努力は必要である
<b>貢献度</b>	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
<b>効率性</b>	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
<b>公平性</b>	受益者負担は公正・公平か	今後その額や対象等を再検討する必要がある

<b>事業の方向性</b>	c:事業内容は現状どおりとする
<b>見直しの種類</b>	現状どおり
<b>見直しする内容</b>	
<b>今後の予算規模の方向性</b>	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	病院事業では、市立病院を指定管理者制(利用料金制)により運営しており、医業収益を有さないことから、現行の体制が継続する限り補助金等の支出が必要であるため。
<b>比較参考（他自治体での類似事業の例など）</b>	



## 6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

今後とも適正な予算執行に努める。
------------------



# 行政経営評価レポート

	所管	保険年金室
事務事業名	国民健康保険事業特別会計繰出経費	事業ID
		10301050113

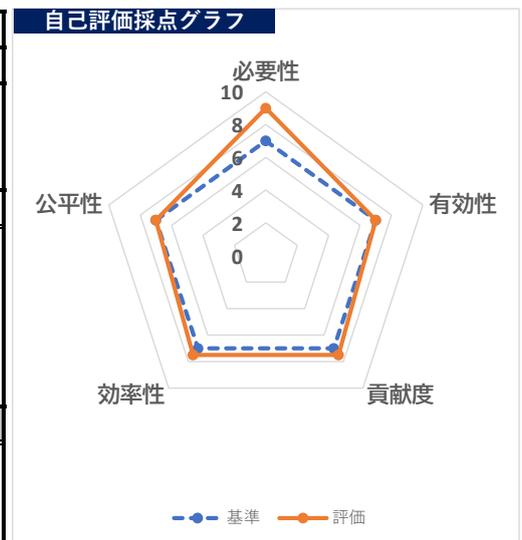
## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 2	R 3
国民健康保険事業特別会計への繰出し	千円	目標値	614,886	624,638
		実績値	589,235	593,114
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 2	R 3
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
<b>事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載</b>				
国民健康保険事業の事務の執行に要する経費や保険料軽減による減収分など、国民健康保険財政安定化のために要する経費等について所要額の繰出しを行った。				

## 5 事業の検証

<b>必要性</b>	事業の実施に対するニーズはあるか	実施が義務付けられている事業【法定受託等】
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	実施が義務付けられており、廃止・休止はできない【法定受託等】
	市が実施すべき事業か	実施が義務付けられており、今後も市が実施する必要がある【法定受託等】
<b>有効性</b>	事業の成果は得られているか	実施が義務付けられており成果を計ることがなされない【法定受託等】
<b>貢献度</b>	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
<b>効率性</b>	事業費等の削減努力	事業費等の削減について検討し、方向性を決定した
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
<b>公平性</b>	受益者負担は公正・公平か	評価対象外

<b>事業の方向性</b>	c:事業内容は現状どおりとする
<b>見直しの種類</b>	現状どおり
<b>見直しする内容</b>	
<b>今後の予算規模の方向性</b>	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	法や国からの繰出金通知に基づき、一般会計から国民健康保険事業特別会計に繰出ししていることから、法及び当該通知の項目等に変更がなければ、事業費に大幅な変更はないため。
<b>比較参考（他自治体での類似事業の例など）</b>	



## 6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

職員給与費や事務費などの市が独自に削減できる項目については削減を検討していくが、保険基盤安定制度などに係る繰出金については、法や国からの繰出金通知に基づき、一般会計から国民健康保険事業特別会計に繰出ししていく。
---



# 行政経営評価レポート

	所管	保険年金室
事務事業名	後期高齢者医療制度経費	事業ID
		10302012213

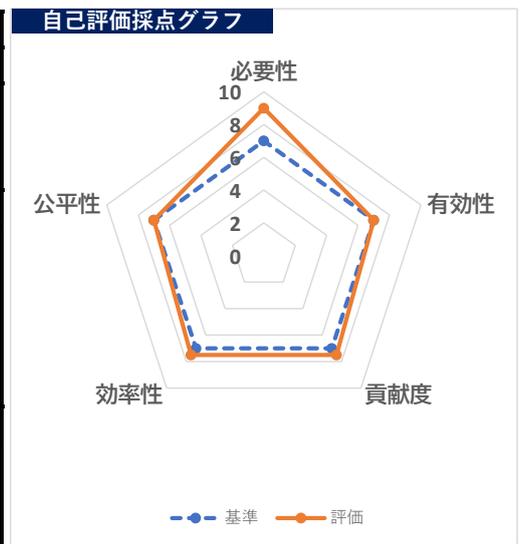
## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
人間ドック等検査費用助成者数	人	目標値	100	—
		実績値	52	—
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
人間ドック等検査費用助成利用率	%	目標値	—	—
（ 助成者数/被保険者数 52/11,408 ）		実績値	0.5	—
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
<b>事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載</b>				
人間ドック助成費用は国からの助成廃止に伴い、令和2年度末で事業終了となった。				

## 5 事業の検証

<b>必要性</b>	事業の実施に対するニーズはあるか	実施が義務付けられている事業【法定受託等】
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	実施が義務付けられており、廃止・休止はできない【法定受託等】
	市が実施すべき事業か	実施が義務付けられており、今後も市が実施する必要がある【法定受託等】
<b>有効性</b>	事業の成果は得られているか	実施が義務付けられており成果を計ることがない【法定受託等】
<b>貢献度</b>	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
<b>効率性</b>	事業費等の削減努力	事業費等の削減について検討し、方向性を決定した
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
<b>公平性</b>	受益者負担は公正・公平か	評価対象外

<b>事業の方向性</b>	c:事業内容は現状どおりとする
<b>見直しの種類</b>	現状どおり
<b>見直しする内容</b>	
<b>今後の予算規模の方向性</b>	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
法に基づき、千葉県後期高齢医療広域連合に対し負担する。	
<b>比較参考（他自治体での類似事業の例など）</b>	



## 6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

法に基づき、千葉県後期高齢医療広域連合に対し負担していく。
-------------------------------



# 行政経営評価レポート

	所管	保険年金室
事務事業名	後期高齢者医療事業特別会計繰出経費	事業ID
		10302012113

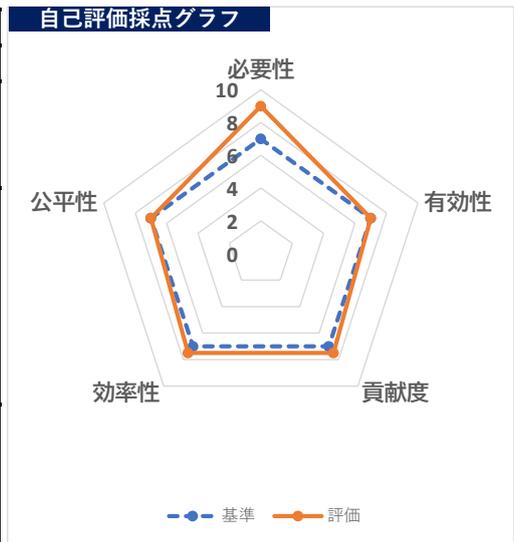
## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
後期高齢者医療事業特別会計への繰出し	千円	目標値	228,578	235,447
		実績値	219,762	216,920
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
<b>事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載</b>				
後期高齢者医療事業の事務の執行に要する経費や保険料軽減による減収分など、後期高齢者医療財政の安定化のために要する経費等について所要額の繰出しを行った。				

## 5 事業の検証

<b>必要性</b>	事業の実施に対するニーズはあるか	実施が義務付けられている事業【法定受託等】
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	実施が義務付けられており、廃止・休止はできない【法定受託等】
	市が実施すべき事業か	実施が義務付けられており、今後も市が実施する必要がある【法定受託等】
<b>有効性</b>	事業の成果は得られているか	実施が義務付けられており成果を計ることがなじまない【法定受託等】
	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
<b>効率性</b>	事業費等の削減努力	事業費等の削減について検討し、方向性を決定した
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
<b>公平性</b>	受益者負担は公正・公平か	評価対象外

<b>事業の方向性</b>	c:事業内容は現状どおりとする
<b>見直しの種類</b>	現状どおり
<b>見直しする内容</b>	
<b>今後の予算規模の方向性</b>	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
	法や国からの繰出金通知に基づき、一般会計から後期高齢者医療事業特別会計に繰出ししていることから、法及び当該通知の項目等に変更がなければ、事業費に大幅な変更はないため。
<b>比較参考（他自治体での類似事業の例など）</b>	



## 6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

職員給与費や事務費などの市が独自に削減できる項目については削減を検討していくが、保険基盤安定制度などに係る繰出金については、法や国からの繰出金通知に基づき、一般会計から後期高齢者医療事業特別会計に繰出ししていく。
--



行政経営評価レポート

		所管	危機管理室
事務事業名	避難誘導対策経費	事業ID	10901042211

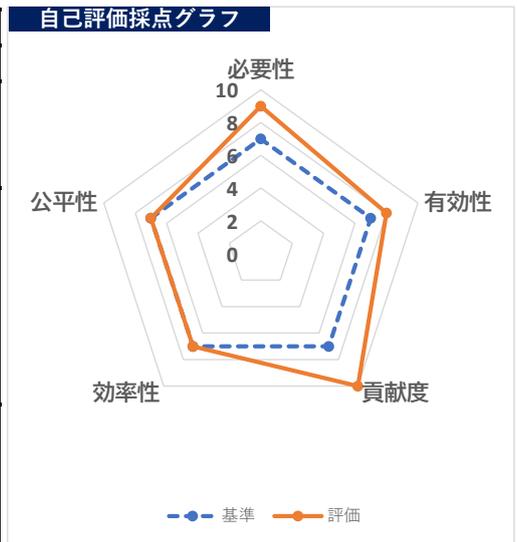
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 2	R 3
防災ハザードマップの配付数	部	目標値	—	—
		実績値	28,000	—
津波避難誘導標識の設置	基	目標値	—	34
		実績値	—	34
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 2	R 3
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
災害発生時に津波浸水想定区域等にある世帯や観光客が適切な避難行動をとれるよう名洗町から外川町までの区間に津波避難誘導標識（津波避難誘導看板5基、巻看板29基）を設置した。				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	増大している
	事業の廃止・休止による影響は大きい	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに十分に見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討したが統合不可
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者はいるが今後も公費により全額市が負担すべきものである

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
	令和4年度は、長崎町から君ヶ浜までの区間に津波避難誘導標識を設置するため
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

津波避難誘導標識の整備を進めるため、令和4年度まで事業を継続していく。
-------------------------------------



行政経営評価レポート

		所管	危機管理室
事務事業名	自主防災組織育成経費	事業ID	10901042711

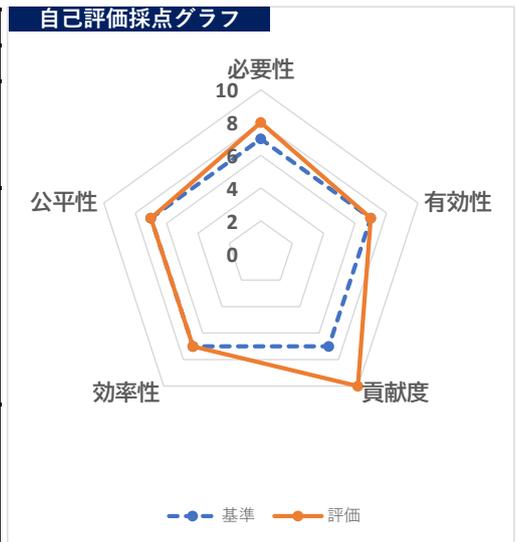
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
自主防災組織の設立数	団体	目標値	—	6
		実績値	—	4
防災ワークショップ開催数	回	目標値	—	1
		実績値	—	0
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
自主防災組織の活動カバー率	%	目標値	—	4.6
（ 自主防災組織がある町内の世帯数/全世帯数 ）		実績値	—	6.5
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
<p>自主防災組織を設立する際の資機材購入費を補助し、新たに4団体が設立された。なお、防災ワークショップは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、やむを得ず中止した。</p>				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きい	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
効率性	事業費等の削減努力	評価対象外
	関連・類似事業との統合	評価対象外
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者はいるが今後も公費により全額市が負担すべきものである

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	引き続き自主防災組織の設立の促進及び防災士の資質向上を図る必要があるため
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>現状どおり自主防災組織を設立する際の資機材購入費を補助することにより、設立を促進する。また、防災士の資質向上を図るためのフォローアップを継続する。</p>
--



行政経営評価レポート

		所管	危機管理室
事務事業名	防災行政無線デジタル戸別受信機整備経費	事業ID	10901042411

4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
デジタル戸別受信機の設置台数	台	目標値	—	15,000
		実績値	—	11,000
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		

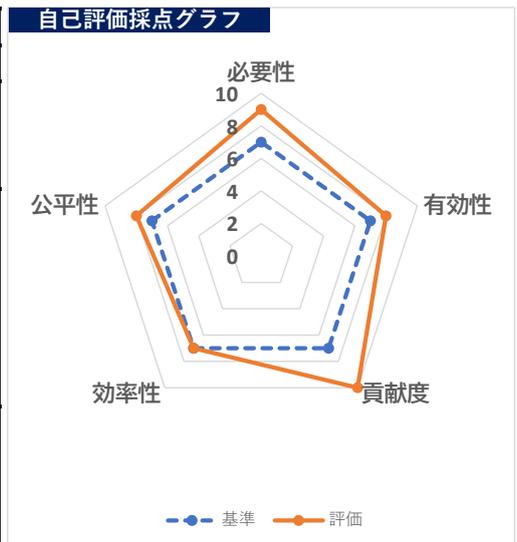
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載

デジタル戸別受信機を整備し、市民や公共施設などに約11,000台を配付した。

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	増大している
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに十分に見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討したが統合不可
公平性	受益者負担は公正・公平か	適正な受益者負担を導入している（直近2年以内にコスト計算実施）

事業の方向性	a:事業内容を見直す
見直しの種類	事業を縮小
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模を縮小する
(上記理由)	
	システム運用及び保守業務のみの支出となるため
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

電波法の改正により令和4年4月11月をもってアナログ波を停波する必要があること、また、現在のアナログ戸別受信機では難聴地域が存在することから、電波伝搬に優れている280MHz帯周波数を使ったデジタル戸別受信機を整備し、難聴対策の解消を図った。今後は、送信局及び配信局のシステム運用、保守業務を行う。



行政経営評価レポート

		所管	危機管理室
事務事業名	防災減災対策経費	事業ID	10901040211

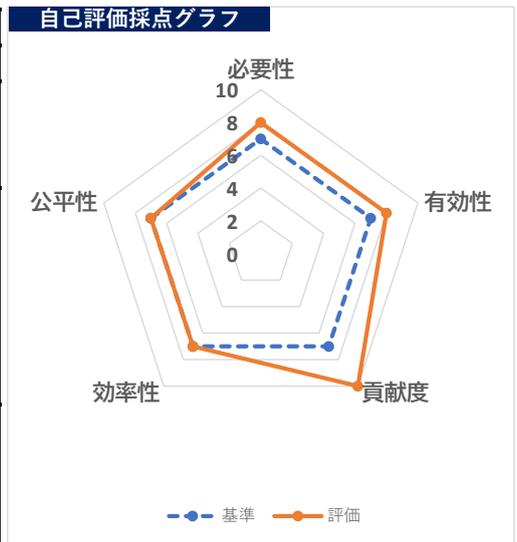
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 2	R 3
防災行政無線維持管理件数	件	目標値	90	72
		実績値	90	72
給水タンク維持管理件数	件	目標値	6	6
		実績値	6	6
防災メール登録件数	件	目標値		—
		実績値		8,051
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 2	R 3
( )		目標値		
( )		実績値		
( )		目標値		
( )		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
<p>防災行政無線、防災メール配信用サーバなどの情報通信設備や給水タンクの維持管理を行い、防災体制の整備を図った。また、災害対策用備蓄物資については、要配慮者や女性の避難生活に配慮し、紙おむつや生理用品などの生活必需品も新規に購入するなど備蓄物資の充実に務めた。</p>				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きい	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに十分に見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討したが統合不可
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者はいるが今後も公費により全額市が負担すべきものである

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
	引き続き防災行政無線、防災メール配信用サーバなどの情報通信設備や給水タンクの維持管理、計画的な災害対策用備蓄物資の購入が必要なため
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>現状どおり事業を継続し、防災行政無線、防災メール配信用サーバなどの情報通信設備や給水タンクの適切な管理に努め、備蓄計画に基づいた災害対策用備蓄物資を購入する。</p>
--



行政経営評価レポート

		所管	消防総務課
事務事業名	消防ポンプ自動車等整備経費（署用）	事業ID	10901030632

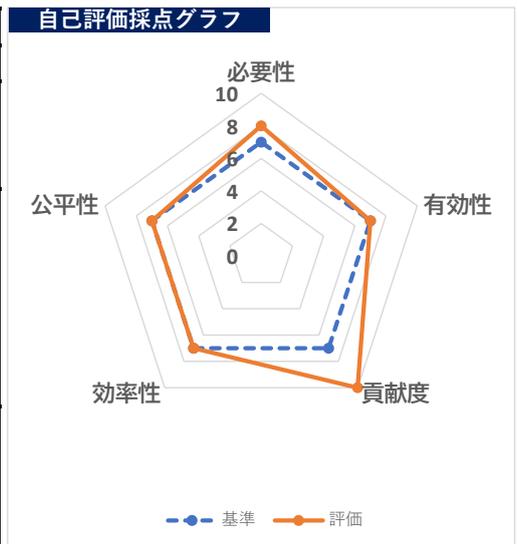
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
化学消防ポンプ自動車購入	台	目標値	—	1
		実績値	—	1
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
<p>消防体制を確保するため、計画的に車両の更新整備を実施した。</p>				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	実施が義務付けられており、廃止・休止はできない【法定受託等】
	市が実施すべき事業か	実施が義務付けられており、今後も市が実施する必要がある【法定受託等】
有効性	事業の成果は得られているか	実施が義務付けられており成果を計ることがない【法定受託等】
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討したが統合不可
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者はいるが今後も公費により全額市が負担すべきものである

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
<p>消防車両の更新計画を15年から20年、更には25年まで延長しており、これ以上の延長は消防車両の運用に支障を来すため現状維持</p>	
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	
<p>他市は15年から18年程度の更新整備</p>	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>老朽した消防車両及び資機材については、今後も更新計画に基づき更新する必要がある。</p>
---



行政経営評価レポート

		所管	消防総務課
事務事業名	はしご付消防自動車整備経費	事業ID	10901032032

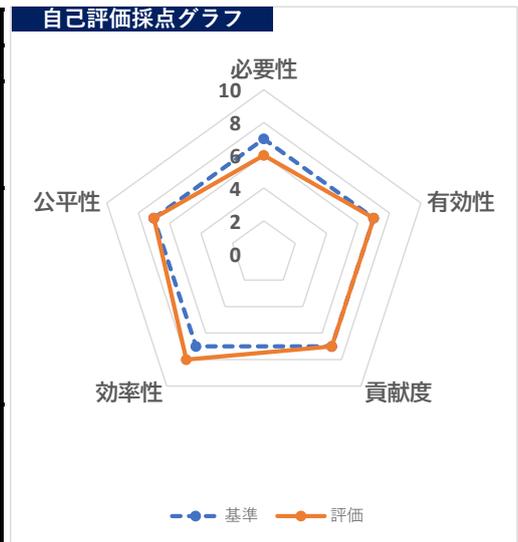
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
はしご付消防自動車の整備	台	目標値	—	1
		実績値	—	1
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
		目標値		
( )		実績値		
		目標値		
( )		実績値		
		目標値		
( )		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
<p>消防体制を確保するため、計画的に車両の整備を実施した。</p>				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	廃止・休止による影響はない
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	評価対象外
効率性	事業費等の削減努力	事業費又は人員の削減に取り組んだ
	関連・類似事業との統合	評価対象外
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者はいるが今後も公費により全額市が負担すべきものである

事業の方向性	b:事業を休止又は廃止とする
見直しの種類	その他
見直しする内容	事業終了
今後の予算規模の方向性	予算規模を縮小する
(上記理由)	
	事業終了
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>はしご車の機能維持整備を実施したことにより、消防体制の万全を図る。</p>
--



行政経営評価レポート

		所管	消防総務課
事務事業名	消防庫改修経費	事業ID	10901030432

4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
消防庫改修	件	目標値	—	—
		実績値	2	3
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		

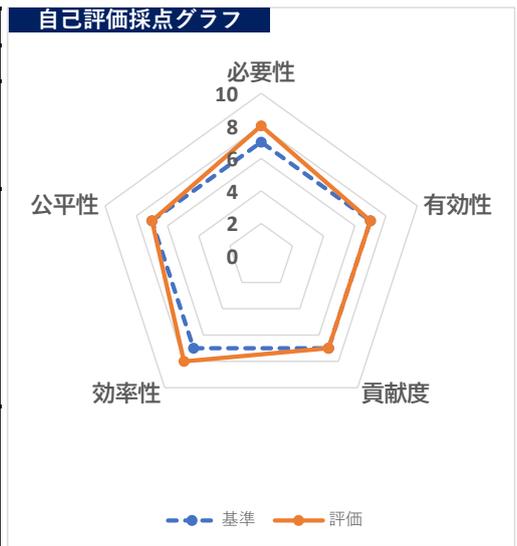
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載

消防団活動に必要な消防庫の維持管理経費であり、この事業を継続することにより消防団活動に万全を図る。消防庫の維持管理に要する経費で、地元からの要望に基づき実施するため指標の設置はしないものとする。

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きい	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	施策体系外である
効率性	事業費等の削減努力	事業費又は人員の削減に取り組んだ
	関連・類似事業との統合	事業費等の削減するため、2年以内に関連・類似事業と統合する
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者はいるが今後も公費により全額市が負担すべきものである

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
<p>老朽化した消防庫について、地元からの改修要望に基づき調査を実施し、優先度を決めながら実施し、施設の長寿命化を図る。</p>	
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	
<p>他市では市直営で実施している。</p>	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

銚子市での消防庫については、従来は銚子市から補助金を支出し地元の財産として建築しており、その施設の維持管理であることから、今後も継続して施設の維持管理に努める必要がある。近年の消防庫新築は、市で建築し市で維持管理を実施している。



# 行政経営評価レポート

	所管	消防総務課
事務事業名	消防施設管理経費	事業ID
		10901030132

## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
ホース交換箇所	箇所/年	目標値	3	3
		実績値	3	3
訓練実施回数	回/年	目標値	10	10
		実績値	0	0
訓練参加人数	人	目標値	200	200
		実績値	0	0
事業成果指標項目 (指標の説明)	単位	目標/実績	R2	R3
( )		目標値		
( )		実績値		
( )		目標値		
( )		実績値		

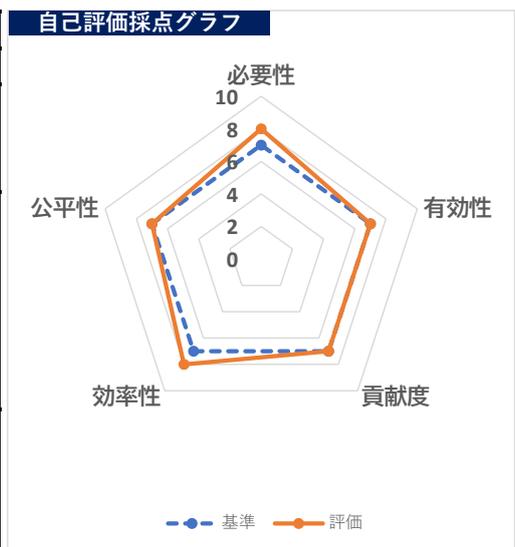
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載

簡易消火栓設備の維持管理を行うことにより、自主防災体制の強化及び地域防災力の向上に繋がる。定期的に訓練を開催することにより、自主防災意識の高揚が図れるとともに、火災時の延焼拡大を阻止することができる。

## 5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	施策体系外である
効率性	事業費等の削減努力	事業費又は人員の削減に取り組んだ
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討したが統合不可
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者はいるが今後も公費により全額市が負担すべきものである

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
当初は年5箇所のホース交換を実施し、10年で全てを入れ替える計画であったが、現在は年3箇所へ規模縮小して実施しているため、これ以上の規模縮小は困難。	
比較参考 (他自治体での類似事業の例など)	



## 6 総評 (評価に対する考え方から今後の事業の進め方など)

今後も計画的な維持管理の徹底を図るとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により訓練が実施できていないため、訓練の実施方法について検討を行う。



行政経営評価レポート

		所管	消防総務課
事務事業名	水道事業会計負担経費	事業ID	10901030232

4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
消火栓新規・敷設替え数	基	目標値	—	—
		実績値	1	9
消火栓修繕件数	件	目標値	—	—
		実績値	15	13
公設消火栓数	基	目標値	—	—
		実績値	1,227	1,229
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
( )		目標値		
( )		実績値		
( )		目標値		
( )		実績値		

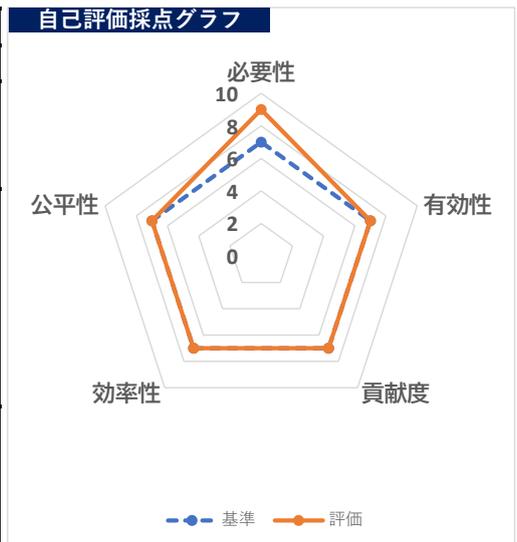
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載

消火活動に必要な消火栓の設置・維持管理経費であり、この事業を継続することにより万全な消火活動に繋がる。

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	実施が義務付けられている事業【法定受託等】
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	実施が義務付けられており、廃止・休止はできない【法定受託等】
	市が実施すべき事業か	実施が義務付けられており、今後も市が実施する必要がある【法定受託等】
有効性	事業の成果は得られているか	実施が義務付けられており成果を計ることがない【法定受託等】
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	施策体系外である
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討したが統合不可
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
過去に設置した消火栓の数が多いことから、維持管理に要する経費は増大することが想定されるが、予算規模は現状維持とし、必要となった際は都度対応とする。	
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

消防水利充実のため、今後も消火栓の新規設置を図りながら維持管理の徹底に努める。

# 行政経営評価レポート

		所管	消防総務課
事務事業名	その他常備消防関係経費	事業ID	10901010632

## 1 事業の基本項目

総合計画上の位置づけ	6-(2)-4 消防力の充実・強化	評価者	課長 卯月 紀明	
関連計画	— : 総合戦略	会計区分	1	
	○ : 第7次行財政改革大綱	款	項	目
	— : その他 ( — )	09	01	01
補助事業との関連	3 国・県の補助事業と関連のない業務（市単独事業分（補助事業の上乗せ・横出し分を除く））			
法定等による分類	1 法律や政令で実施内容や実施方法が具体的に規定されている業務			
根拠法令	消防法、消防組織法			

## 2 事業の概要

補助・単独の別	単独事業		
事業期間	単年度繰返	年度から	年度まで
目的	市民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行う。		
対象	市民の生命、身体及び財産		
事業内容	消防本部・消防署の消防業務全般の経費		
関連事業	消防活動において関連する経費全般		

## 3 費用等に関する項目

	事業費 (A)	36,369 千円
財源	一般財源 (B)	31,997 千円
	特定財源 (C)	4,372 千円

市民ひとりあたり (A/人口)	638 円
受益者負担率	2.19%

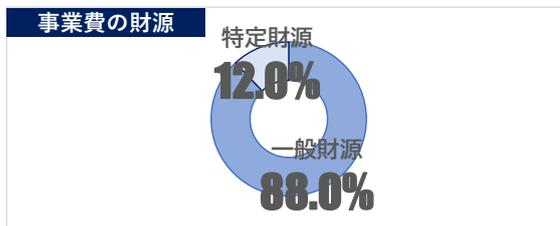
※受益者負担率 = 受益者負担金 (E) の総計 / A

施設の管理運営に関する人件費 (D)	23,414 千円
総コスト (A+D)	59,783 千円

※施設の管理運営に関する事業のみ人件費表示

### 【事業費 (A) の内訳】

支出項目	決算額	割合
07 報償費	2 千円	0.01%
08 旅費	703 千円	1.93%
10 需用費	23,715 千円	65.21%
11 役務費	3,885 千円	10.68%
12 委託料	1,761 千円	4.84%
13 使用料及び賃借料	2,223 千円	6.11%
17 備品購入費	1,087 千円	2.99%
18 負担金、補助及び交付金	2,378 千円	6.54%
26 公課費	615 千円	1.69%



### 事業費と人件費の割合

※(D)の人件費が生じるときのみ表示



### 【特定財源 (C) の内訳】 ※マーク 受益者負担金 (E)

特定財源の名称	決算額
その他諸収入	5 千円
感染症予防事業費負担金 (県)	3,570 千円
※許可手数料	378 千円
※検査手数料	198 千円
※公共施設等電気料収入	162 千円
※承認手数料	59 千円

# 行政経営評価レポート

	所管	消防総務課
事務事業名	その他常備消防関係経費	事業ID
		10901010632

## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
火災出動回数/出動隊員延人数 (年中)	回/人	目標値	—	—
		実績値	14/216	16/291
救助出動回数/出動隊員延人数 (年中)	回/人	目標値	—	—
		実績値	43/519	43/587
救急出動回数/出動隊員延人数 (年中)	回/人	目標値	—	—
		実績値	2,583/7,749	2,711/8,133
事業成果指標項目 (指標の説明)	単位	目標/実績	R2	R3
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		

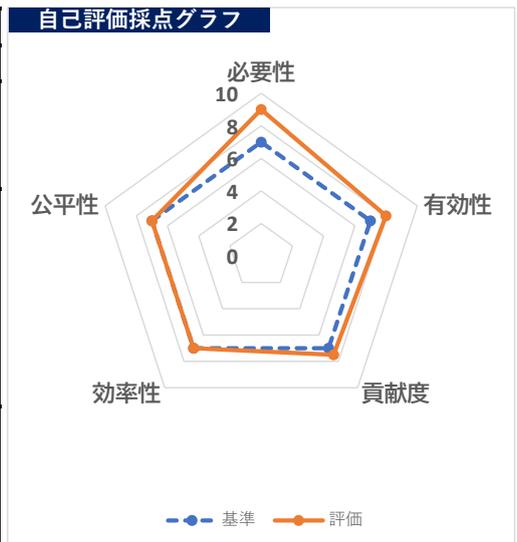
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載

救急出動に際しての救命率の向上、火災出動等に際しての人命救助及び延焼拡大の防止。災害対応業務であることから、指標の設定は困難であり、計画値・目標値についても記載しないものとする。

## 5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	実施が義務付けられている事業【法定受託等】
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	実施が義務付けられており、廃止・休止はできない【法定受託等】
	市が実施すべき事業か	実施が義務付けられており、今後も市が実施する必要がある【法定受託等】
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに十分に見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討したが統合不可
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者はいるが今後も公費により全額市が負担すべきものである

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
災害は多種多様化し、それとともに必要となる資機材等の維持管理に要する経費も増大しているが、職員による維持管理の徹底を図ることで現状維持とする。	
比較参考 (他自治体での類似事業の例など)	



## 6 総評 (評価に対する考え方から今後の事業の進め方など)

複雑多様化する災害に対応できるよう、職員の資質及び対応能力の向上を図るとともに、施設や資機材の維持管理を徹底し、更なる消防力の充実強化を図る。



# 行政経営評価レポート

	所管	消防総務課
事務事業名	東京2020オリンピック・パラリンピック消防関係経費	事業ID
		10901010932

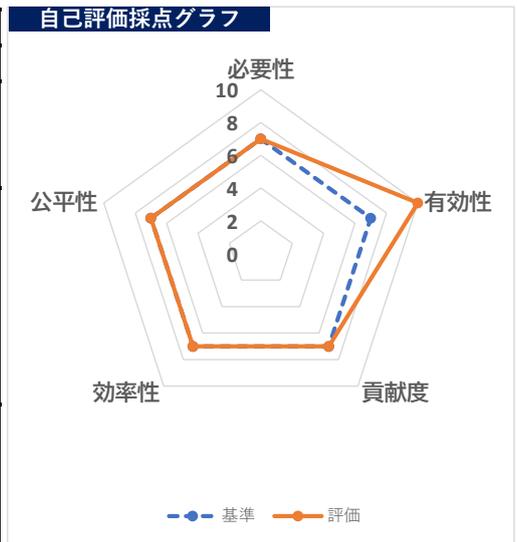
## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
一宮町サーフィン会場警備	日/人	目標値	—	—
		実績値	—	3/9
成田国際空港警備	日/人	目標値	—	—
		実績値	—	1/3
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
<b>事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載</b>				
大会開催中、管轄消防本部の出動はあったが、応援活動に派遣された消防本部の活動実績はなく、安全な大会開催に寄与した。				

## 5 事業の検証

<b>必要性</b>	事業の実施に対するニーズはあるか	評価対象外
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	評価対象外
	市が実施すべき事業か	評価対象外
<b>有効性</b>	事業の成果は得られているか	事業の実施コスト以上に十分な成果を得ている
<b>貢献度</b>	上位施策の実現に向けた貢献度	施策体系外である
<b>効率性</b>	事業費等の削減努力	評価対象外
	関連・類似事業との統合	評価対象外
<b>公平性</b>	受益者負担は公正・公平か	評価対象外

<b>事業の方向性</b>	d:他事業と統合し、本事業は廃止する
<b>見直しの種類</b>	その他
<b>見直しする内容</b>	大会終了のため事業廃止
<b>今後の予算規模の方向性</b>	予算規模を縮小する
(上記理由)	大会終了のため事業廃止
<b>比較参考（他自治体での類似事業の例など）</b>	



## 6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

大会終了に伴い、事業を廃止する。
------------------



行政経営評価レポート

事務事業名	消防団員経費	所管	消防総務課
		事業ID	10901020132

4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 2	R 3
消防団員数（4月1日現在）	人	目標値	579	579
		実績値	489	467
火災・風水害出動回数/出動団員延人数（年中）	回/人	目標値	—	—
		実績値	2/86	12/235
訓練・警戒延回数/出動団員延人数（年中）	回/人	目標値	—	—
		実績値	350/6,475	482/8,494
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 2	R 3
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		

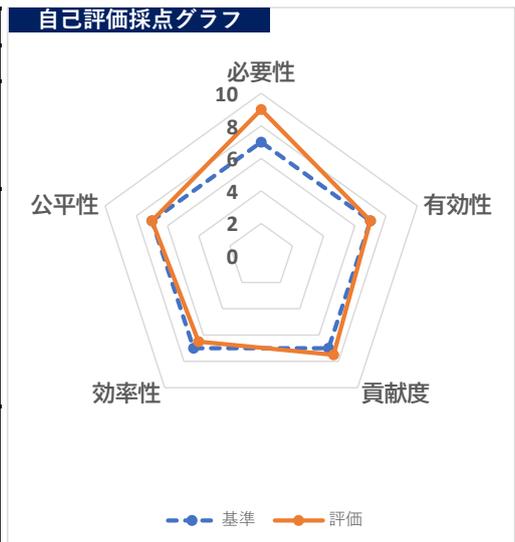
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載

全国的に団員確保が困難であることから、団員を条例定数である579名に充足させ、地域防災力の向上を図る。災害対応業務であることから、指標の設定は困難であり、計画値・目標値についても一部記載しないものとする。

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	実施が義務付けられている事業【法定受託等】
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	実施が義務付けられており、廃止・休止はできない【法定受託等】
	市が実施すべき事業か	実施が義務付けられており、今後も市が実施する必要がある【法定受託等】
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	a:事業内容を見直す
見直しの種類	事業を拡大
見直しする内容	消防団員の年額報酬等について、国要請の基準額に見合う額へ増額する。
今後の予算規模の方向性	予算規模を拡大する
(上記理由)	
消防団員の年額報酬・出動手当については国の示す金額より低い状況にあり、令和4年度中に改正予定。	
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	
国の示す報酬等の基準額を参考に改正した自治体が多数。	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

国が示す「消防団員の報酬等の基準の策定等」に基づき、消防団員の処遇改善について令和4年度中に改正し、消防団員の確保を図る。



行政経営評価レポート

		所管	消防総務課
事務事業名	その他非常備消防経費	事業ID	10901020332

4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 2	R 3
車検・法定点検整備回数	回	目標値	80	80
		実績値	80	80
その他修理件数	件	目標値	—	—
		実績値	9	15
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 2	R 3
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		

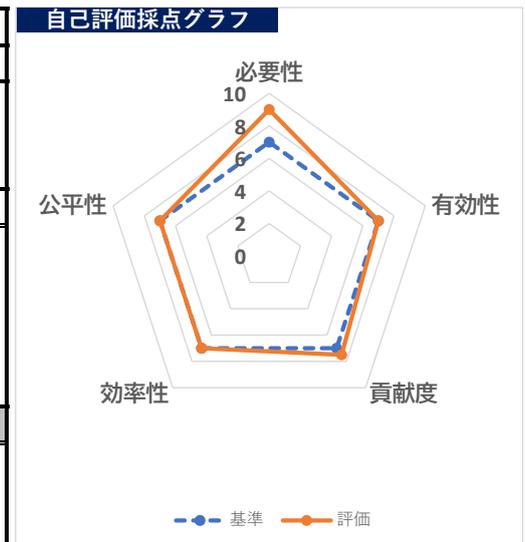
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載

本事業は、消防団活動に必要な消防車両の維持管理や、事業運営に資する経費であり、指標の設定は困難である。

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	実施が義務付けられている事業【法定受託等】
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	実施が義務付けられており、廃止・休止はできない【法定受託等】
	市が実施すべき事業か	実施が義務付けられており、今後も市が実施する必要がある【法定受託等】
有効性	事業の成果は得られているか	実施が義務付けられており成果を計ることがない【法定受託等】
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討したが統合不可
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者はいるが今後も公費により全額市が負担すべきものである

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	消防団車両の維持管理と消防団の運営に必要な経費であり削減は困難である。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

今後も、消防団車両の維持管理を徹底するとともに、円滑な事業運営を図る。



行政経営評価レポート

		所管	消防総務課
事務事業名	消防救急無線維持管理経費	事業ID	10901031032

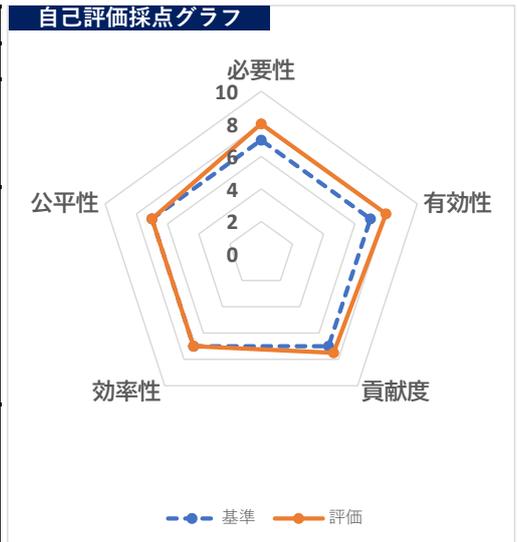
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目 (指標の説明)	単位	目標/実績	R2	R3
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
消防救急無線の維持管理経費のため、指標の設定はしないものとする。				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに十分に見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討したが統合不可
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	県域で整備した基地局無線と、単独整備した移動局無線の維持管理に要する経費のみであるため。
比較参考 (他自治体での類似事業の例など)	



6 総評 (評価に対する考え方から今後の事業の進め方など)

<p>県域で整備した基地局については、令和7年度から令和8年度にかけて全体更新の計画が示され、更新計画について協議しながら今後も維持管理の徹底を図る。単独で整備した移動局については、機械寿命や製造中止等の理由により定期的な交換を含めた計画策定を行う必要がある。</p>
--



行政経営評価レポート

		所管	消防総務課
事務事業名	共同指令センター運営関係経費	事業ID	10901030932

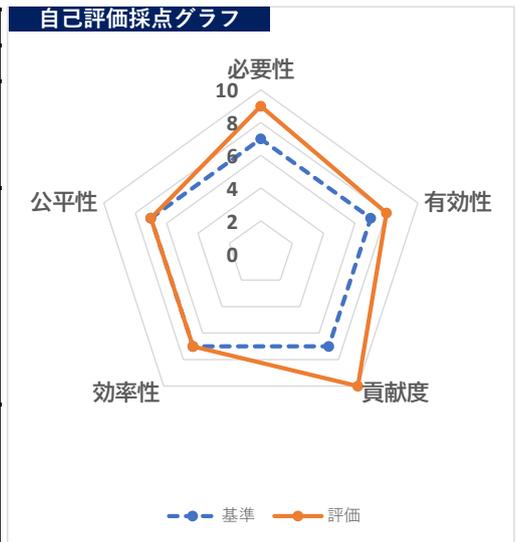
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 2	R 3
119番通報受報件数（年中）	件	目標値	—	—
		実績値	3,224	3,427
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 2	R 3
救急出動の平均到着時間 （ 救急出動における、出動～現場到着までの平均所要時間（年中） ）	分	目標値	—	—
		実績値	5.5	5.8
隣接応援件数 （ 隣接市町村へ応援出動した件数（年中） ）	件	目標値	—	—
		実績値	4	2
隣接受援件数 （ 隣接市町村から応援を受けた件数（年中） ）	件	目標値	—	—
		実績値	20	24
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
<p>共同運用することにより、通信機器等の整備費及び維持管理経費の節減が図れるとともに、相互の応援体制が図れる。なお、災害対応業務であることから、指標の設定は困難であり、計画値・目標値についても記載しないものとする。</p>				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	実施が義務付けられている事業【法定受託等】
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	実施が義務付けられており、廃止・休止はできない【法定受託等】
	市が実施すべき事業か	実施が義務付けられており、今後も市が実施する必要がある【法定受託等】
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに十分に見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討したが統合不可
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
	本事業については、事業費に大きく変動がある事業ではないが、令和5年度から令和7年度にかけて機器の全体更新を計画しているため、今後増大する。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>協議会事務局より機器の全体更新計画が示され、令和8年4月の運用開始について協議を進めていく。</p>
---



行政経営評価レポート

		所管	都市整備室
事務事業名	被災者等住宅再建資金利子補給経費	事業ID	10801011028

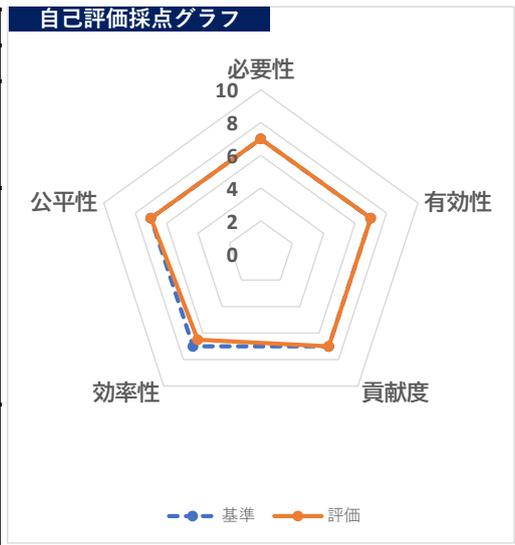
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
利子補給件数	件	目標値	—	—
		実績値	2	2
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
法令により実施が義務付けられている事業であり、成果指標評価の対象外。				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きい	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	実施が義務付けられており、今後も市が実施する必要がある【法定受託等】
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	施策体系外である
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者はいるが今後も公費により全額市が負担すべきものである

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	利子補給期間は5年間であるため。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>利子補給の申込期限は令和2年12月31日で締切のため、申込者2名の利子補給期間5年間利子補給金交付を行う。</p>
--



行政経営評価レポート

		所管	危機管理室
事務事業名	防犯関係経費	事業ID	10201140411

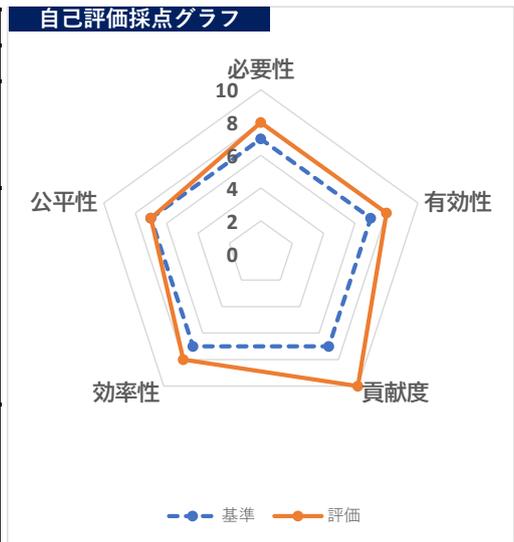
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 2	R 3
補助実施件数	件	目標値	—	—
		実績値	2	1
防犯カメラ維持管理件数	件	目標値	15	15
		実績値	15	15
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 2	R 3
人口1万人当たりの犯罪発生件数	件	目標値	72	71
( )		実績値	51.3	45.7
( )		目標値		
( )		実績値		
( )		目標値		
( )		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きい	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに十分に見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	事業費及び人件費の削減を図るため、関連・類似事業と統合した
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者はいるが今後も公費により全額市が負担すべきものである

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
	引き続き防犯体制の強化を図る必要があるため
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

現状どおり防犯団体に対する補助などで活動を支援するとともに、設置した防犯カメラの適切な維持管理に努めていく。



行政経営評価レポート

		所管	危機管理室
事務事業名	交通安全対策経費	事業ID	10201120611

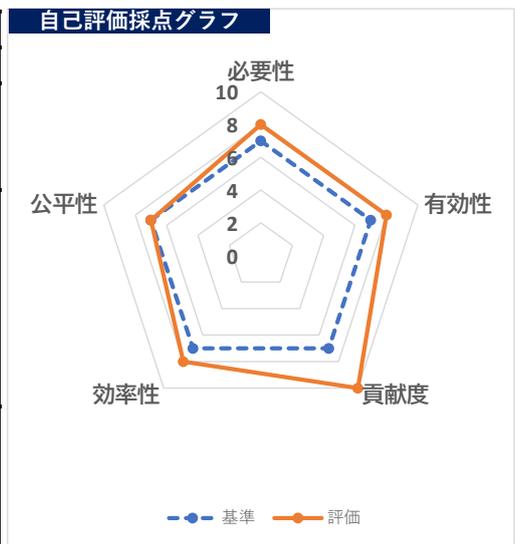
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 2	R 3
交通安全教室	回	目標値	70	50
		実績値	11	38
交通安全指導	回	目標値	20	20
		実績値	20	19
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 2	R 3
人口1万人当たりの交通事故発生件数 ( )	件	目標値	19	18
		実績値	22.2	21.5
( )		目標値		
( )		実績値		
( )		目標値		
( )		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに十分に見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費又は人員の削減に取り組んだ
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討したが統合不可
公平性	受益者負担は公正・公平か	評価対象外

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性 (上記理由)	予算規模は現状維持とする
	引き続き交通安全対策を実施する必要があるため
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>人口1万人あたりの交通事故発生件数が目標値を上回っていることから、交通事故の発生を抑止するため地域に根ざした交通マナー・ルールの徹底を図っていく。</p>
--